

# 荒川の人

第272回

役者たちと起こす化学反応こそ、演出の醍醐味。  
あらかわの街に演劇の文化を根付かせたい。

たかはしまさのり  
演出家 高橋 正徳さん

1978年荒川区東尾久出身。都立上野高校卒業。東京学芸大学中退。2000年文学座附属演劇研究所入所(40期生)。2005年座員昇格。文学座アトリエの会「TERRA NOVA テラノヴァ」(2004年)で文学座初演出。以降、数多くの現代作家の新作の演出をはじめ、文学座附属演劇研究所の発表会の演出に携わる。演出家として活動するかたわら、地方公共団体や学校などで演劇ワークショップの講師も務める。2011年文化庁新進芸術海外研修制度により1年間イタリア・ローマに留学。

**昭** 和を代表する演劇人、杉村春子さんをはじめ、江守徹さん、角野卓造さんなどの名優を輩出してきた文学座。80年以上の歴史をもつ文学座の一員として、数多くの舞台の演出を手掛けた高橋正徳さんに、演劇にかける想い、生まれ育ったあらかわの街について伺いました。

「演劇界の東大」文学座へ  
養成期間を経てプロの演出家に

「稽古の中で役者たちと物語のイメージを具現化していく作業が楽しいですね」と舞台演出の魅力を語る高橋正徳さん。

高校生の時にクラスメイトから演劇部に勧誘されたことが、この世界に足を踏み入れるきっかけになったといいます。舞台上で芝居をする機会もありましたが、舞台裏側から支える役割にやりがいを感じ始めると、次第にプロの演出家とはどんなものだろう、と考えるように。大学時代には友人と劇団を旗揚げするなど、演劇一色の青春時代を過ごします。

友人たちが就職を考え始める中、高橋さんは職業として演劇人になることを決意。そして、「演劇界の東大」とも呼ばれる劇団、文学座の門を叩きます。「文学座は新旧さまざまな作品を公演していて、活

躍している演出家もたくさんいることが決め手になりました。才能があるか、ないかという気持ちよりもプロの世界に対する好奇心の方が強かったです。ただ、母に大学を辞めることを告げると3日くらい寝込んでしまいました(笑)」

狭き門を突破し、プロの演出家としてキャリアを積み重ねること20年あまり。いつしかお母さんも喜んで劇場に足を運んでくれるようになったそうです。

稽古もランニングも本番のための  
「筋力」を鍛える地道な作業

これから秋にかけて大きな舞台を控え、多忙な毎日を送る高橋さんにとっての気分転換がランニングです。数年前に走る楽しさに目覚めて以来、理想のフォームを研究し、全国各地のレースにもエントリー。陸上競技未経験だったにもかかわらず、いまやフルマラソンを2時間台で完走する「サブスリー」を達成した本格派のランナーです。「一人きりになれて、走りながら考えごともできますし、なにより気分がすっきりします。稽古や練習を重ねて、本番で結果を出すという点で演劇とマラソンはよく似ているかもしれません。走ることを通じて演劇以外の人と知り合う機会が増え、世界も広がりました」

生まれも育ちも東尾久  
演劇人は荒川区に住むべき！

演劇とともに駆け抜けてきた高橋さん。ご自身の初舞台は、幼稚園の学芸会で立ったサンパール荒川のステージでした。小・中学生のころには合唱コンクール、そして成人式、さらにはお父さんが「荒川第九演奏会」に参加するなど、サンパール荒川



には思い出とともに深い縁を感じているそうです。

「小さいながらも多彩な表情をもっていて、劇場のある新宿や池袋、東京駅などにも好アクセス。庶民的で住みやすい荒川区は演劇人にもってこいの街だと思います」と荒川区の魅力を語る高橋さん。生まれ育った東尾久界隈のおすすめのお店は、おぐぎんざ商店街にある焼き鳥と揚げ物のお店「いけだ商店」とうなぎ屋の「坂田」。日暮里から上野にかけて散歩する時に立ち寄るタヤケだんだんと、高校時代の通学路だった富士見坂をお気に入りのスポットに挙げてくれました。

信念を貫き、演劇の世界で夢を実現した高橋さんは、文化芸術活動が盛んな、あらかわの街に期待を寄せるとともに、さらなる夢を思い描いています。

「落語やクラシック音楽、オペラなどと同様に演劇の楽しさをもっと多くの人に知ってほしい。舞台の公演はもちろんですが、子どもたちのために演劇のワークショップなども開催できたらうれしいですね」

## 2023年の主な公演日程

9月2日(土)～10日(日)  
大地真央芸能生活50周年記念公演  
舞台「最高のオバハン 中島ハルコ」  
シアター1010(北千住)  
お問合せ:シアター1010チケットセンター  
10月22日(日)～10月28日(土)  
「検察側の証人」  
俳優座劇場(六本木)



高橋正徳さんの  
お気に入りの一冊

ロミオとジュリエット  
著者: ウィリアム・シェイクスピア 翻訳: 松岡和子(筑摩書房)  
「愛している」という気持ちを、たくさんの言葉を用いて伝えようとする  
描写が秀逸です。意外と読みやすいのも特徴です。



久しぶりの納涼はラングウッドで！  
にぎやかに楽しく、みんなで乾杯しませんか？

アートホテル日暮里  
ラングウッド

SUMMER  
PARTY PLAN

お料理は和・洋・中・各種折衷コースの中から  
お選びいただけます。(10名様より承ります)

2時間  
飲み放題付  
¥7,700～

ART HOTEL  
NIPPO  
Langwood

アートホテル日暮里 ラングウッド



〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5  
TEL.(03)3803-1234 (代表)

【交通のご案内】日暮里駅南改札口 徒歩1分 【駐車場】立体駐車場26台  
※車体制限あり ※駐車場のご予約は承っておりません。  
※できるだけ公共交通機関をご利用ください。



レストラン利用もお得！

レストランランチ・ディナー限定!!  
ご飲食代より

10%OFF

有効期間 / 2023年7月31日(月)

※レストランセリオ割烹のみご利用可。  
※他特典との併用不可。  
※ご清算後のご提示は対象外となります。  
※通常メニューのみ。掲載プランには使用不可。